



**日本共産党 荒川区議会議員**

Japanese Communist Party

**横山幸次 区政通信**

E-mail:kouji.office@gmail.com

924 2025年5月18日  
日本共産党荒川区議会議員団  
区役所控室 3802-4627  
横山事務所  
荒川区町屋5-3-5  
&fax 3895-0504

定例法律相談  
6月2日(月)  
18時~20時  
横山区議事務所



## スポーツハウスの大規模改修工事入札が不調 今後の小中学校建替、新庁舎建設はどうなる

**競争入札から「見積もり競争」へ 随意契約に変更？  
切実な施設改修と契約のあり方が問われています**

「建設費高騰…再開発、公共事業の相次ぐ計画見直し、延期、中止…」の記事で、中野サンプラザ再開発、江戸川庁舎建設など全国各地で、公共施設建設の入札が不調になっている実態をお知らせしました。

こうした中、荒川区でも西尾久のスポーツハウス大規模改修工事の入札が4月9日におこなわれ、複数のJVの応札があったものの、建設費高騰により辞退となりました。区は、このまま再入札を行っても、不調となる可能性が高く、時間が経過するとさらに建築費が高騰するなどして、4月30日の区議会に増額補正を提案しました。

	当初予定	増額予算	補正予算後
2025年度	1,518,200千円	70,100千円	1,588,300千円
2026年度	2,277,690千円	105,297千円	2,382,987千円
合計	3,795,890千円	175,397千円	3,971,287千円

本庁舎建て替え計画（現時点）

2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度
実施設計					
			建設工事		使用開始

小中学校建て替え計画

2031	2032	2033	2034	2035
建替	建替	建替	建替	建替
代替校舎①				
実施	建替	建替	建替	建替
代替校舎②				
基本	実施	建替	建替	建替
代替校舎③				
基本	実施	建替	建替	建替
代替				

建設費の高騰は、この先も続く見通しです。同時に、運転手問題と同様に建設労働者に建設労働者、とりわけ不可欠な技能労働者の決定的な不足が大きな問題として立ち塞がっています。

荒川区の場合、小中学校建て替えと本庁舎建て替えの時期がほとんど同じ時期に重なります。5年後ですが、いままら、計画の再検討も必要ではないでしょうか。本庁舎は、80年使用可能で20年くらいは大丈夫です。子どもの教育環境整備こそ最優先にすべきではないでしょうか。

**小中学校建て替え計画と新庁舎建設：2030年前後から動き出す計画ですが？**

め、これ以上の工事の遅れは回避すべきとして、補正予算に賛成しました。

しかし40億円規模の大規模改修工事の随意契約でよいのかなどの問題が残ります。引き続き区の小中学校建て替え、新庁舎建設などが控える中、区の行財政運営の効率的民主的なあり方について検証が必要ではないでしょうか。みなさんのご意見をお寄せください。



## 町屋さくら復活・移動の自由保障を考える…(53) 共産党都議団の提言に見るフランスの公共交通

フランスは、「すべての人が同じように移動する権利をもつ」「交通手段選択の自由がある」という交通権・移動権を明文化した「国内交通基本法」を、1982年に世界で初めて制定しました。すべての施策で交通権・移動権を優先することを求めています。この法律にもとづいて、マイカーをもたない人、もてない人をふくめすべての人が、より便利に、安く、快適に移動できるようにするために、「自動車依存」から「公共交通の整備」へ、交通政策やまちづくりの方針が大転換しました。多くの都市で、「まちの主役が車から人へ」の変ぼうが進んでいます。公共交通の運賃無料化の取り組みも始まっています。2005年の法改正では、交通権・移動権をもつ「すべての人」には、身体の不自由な人はもちろん、子どもを乗せたベビーカーを押す人（親）もふくまれることが明確にされました。（提言より抜粋）

裏面 マイナ保険証問題 带状疱疹ワクチン補助など…

## 都電沿線のバラもきれいに咲いています 近くでは荒川区のバラの市、旧古河庭園も見所

まちな話あれこれ

今年も都電沿線にきれいなバラが咲いて行き交う人々の目を楽しませてくれます。テレビで北区の旧古河庭園のバラの様子が見られていました。相対前にうかがったことを思い出しました。とてもきれいなバラの庭園です。

バラには、一度だけ花を咲かせる「一季咲き」の品種と、年間に複数回花を咲かせる「繰り返し咲き（返り咲き）」の品種があります。繰り返し咲き（返り咲き）の品種は、春に咲いた後に、花がらを摘み取ると、再び花を咲かせる性質があります。一年通じて様々な



# どうなる！ マイナ保険証

# マイナ保険証の利用率は全国で3割程度… いまでもトラブル増加…保険証廃止の撤回こそ

全人口のうち…

マイナナンバーカードあり 78%	なし
保険証 登録済み 57%	未登録 21%
約3割 マイナ保険証 利用	マイナ保険証利用なし

昨年12月に健康保険証の新規発行が終了、マイナ保険証への一本化が強行されましたが、3月時点のマイナ保険証の利用率は全国で27・62%・東京都ではさらに2ポイント以上低くなっています。

全人口のうち約7割がマイナ保険証を使用しておらず、「マイナナンバーカードを持っていても保険証として登録していない」人が2割、「マイナ保険証を持っても使ったことがない」人も約3割です。

マイナ保険証を持っていない方には、保険証代わりになる「資格確認書」が申請不要で交付されますが、保険者によっては申請を求められるなど対応にばらつきもあります。マイナ保険証をめぐる医療体制の整備に不安の声が尽きません。医療団体からは「安心して医療を受けられるよう、資格確認書を被保険者すべて

国は、今年7月に75歳以上が加入する「後期高齢医療保険」の保険証の有効期限切れに伴い、マイナ保険証の有無に関わらず加入者全員に「資格確認書」を送付する、としました。あわせて、新規加入者などへの自動交付も来年7月末まで延長します。

マイナ保険証一本化が強行されるも、国民の声が反映されなかったのですが、そもそも健康保険証を廃止しなければ良かったのではないのでしょうか。

保険証の有効期限切れやマイナナンバーカード更新等で無保険者が生まれかねません。自治体としての対応

## 75歳以上全員に「資格確認書」交付

全国保険医団体連合会の調査より（2～4月）

「特にトラブルはない」との回答が前回調査（2024年8～9月実施）の24.6%から10.6%に激減。トラブル内容は「（くるまの）が出る」（65.1%）や「カードリーダーの接続不良・認証エラー」（43.9%）、「資格情報が無効」（38.4%）など。マイナ保険証の「有効期限切れ」が前回14.1%から31.0%に倍増

に交付してほしい」との強い要望が出されています。

## 世田谷・渋谷区で全国保世帯に資格確認書を配布

原則マイナ保険証を持たない人に送付される「資格確認書」を、渋谷区と世田谷区がマイナ保険証の有無にかかわらず、国民健康保険の加入者全員に一斉送付することを決めました。世田谷区と渋谷区は、国が認めた75歳以上だけでなく、国保加入者にマイナ保険証と資格確認書を送付、「2枚持ち」を認めたことになります。安全な医療のため、地方自治体独自の権限で実施するものです。国も75歳以上全員送付、二つの自治体で国保全員に交付すること自体、マイナ保険証一本化の矛盾の表れではないのでしょうか。

改めて、健康保険証廃止の撤回を求めています。

荒川区は、どう考え、どう対処するのでしょうか。



## 带状疱疹ワクチン助成が縮小!?

区は、<sup>たいじょうほうしん</sup>「50歳以上」を対象に2023年度から開始しましたが、4月からの「定期接種」化にともなって助成内容が段階的に縮小されます。

ワクチンの種類	生ワクチン	不活性化ワクチン
回数	1回	2回
予防効果	50～60%	90～95%
持続期間	5～8年程度	9年以上
特徴	1回で済む 料金が安い	予防効果が高い 免疫低下でも接種可
自己負担	4,000円	11,000円（×2回）

生活保護世帯等は免除

定期接種の対象となる「65歳を迎える方」は、これまで通り費用の半分程度が助成されます。また、2029年度までの5年間は「70・75・80・85・90・95・100歳になる方」も助成の対象です。「101歳以上の方」「50歳以上で上記に当てはまらない方」は、今年度まで対象となります。

対象の方は、6月中旬以降に予診票が届きます。ワクチンは「生ワクチン」「不活性化ワクチン」の2種類があり、自己負担額は、各4,000円・11,000円（通常費用の半分程度）です。

助成利用は対象の3% 2023年度は2,716人の方が区の助成を利用しましたが、対象人口（50歳以上）の約3%にとどまっています。助成があっても、費用負担を考えると躊躇される方が少なくないようです。

費用無料化、支援継続する区も 足立・葛飾・渋谷・港など、定期接種対象者の費用を無料にする区もあります。また、荒川区は定期接種対象外の方への助成を今年度限りで終了する予定ですが、引き続き継続する区もあります。物価高騰の中で4,000円は決して軽い負担ではありません。費用の心配なく接種できるよう、助成額の引き上げや任意接種の助成継続など、区民の健康をまもる区の支援を求めます。

### 带状疱疹とは…

発症すると、赤い斑点と水ぶくれが帯状に生じて痛みを伴い、症状が収まっても痛みが続くことも。多くが水ぼうそうのウイルスが原因で、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が発症するといわれています

## 今年3月の実質賃金 2.1%減 3か月連続マイナス

3月の働く人1人当たりの現金給与の総額は、前の年の同じ月と比べて2.1%増えましたが、物価の上昇に賃金の伸びが追いつかず、実質賃金は2.1%減少しました。実質賃金のマイナスは3か月連続です。

（基本給や残業代など現金給与総額は、1人当たり平均で30万8,572円と前年同月比2.1%増え、39か月連続のプラス。所定内給与は、26万2,896円と1.3%増えて、41か月連続のプラス）



700円へ！消費税5% 減税！は緊急です